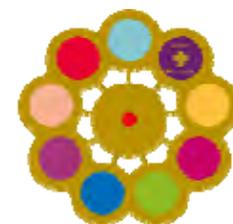


Disease Information Innovation 2020

【感染症サーベイランス強化】感染症の発生を素早く探知・公開し、健康的な暮らしを守る



Innovation
for Everyone
2020



取組概要

世界各国から多くの人が入り込むことで懸念される感染症流行を迅速に探知するための感染症サーベイランスの強化

社会情勢 / 社会課題

エボラ出血熱やデング熱等、世界中で深刻な感染症の発生が報告され、特定の国や地域で発生した感染症が短期間で世界中のあらゆる場所に広がりうる状況となっている。さらに昨今ではバイオテロ等の人為的リスクも強く認識されるようになってきた。国際化の進展に伴い、日本における感染症のリスクも高まっており、諸問題に対する喫緊の対応が必要である

長期ビジョン

感染症対策の一層の強化により「さまざまな感染症の脅威から人びとの安全を確保した社会」を実現する

感染症に関する医師等からの情報収集、専門家による解析、国民・医療関係者への情報提供および公開を行うことにより、感染症に対する有効かつ的確な予防対策を図り多様な感染症の発生・拡大を防止する

東京大会での役割

感染症サーベイランスの徹底と強化により、大規模イベント開催時における感染症等の異常発生を早期探知と迅速な対応を行う

3つの手段

1 ソーシャルインパクト

大会前から、感染症への万全な体制を組んでいることを、広くPRしていく

2 大会ホスピタリティ

流行前からの事前情報や発生後の正確な情報等を、素早く国民等に届ける

3 シェアードバリュー

各自治体等への技術連携

2020年に向けたコンセプト

Disease Information Innovation 2020 感染症サーベイランス強化

厚生
労働省

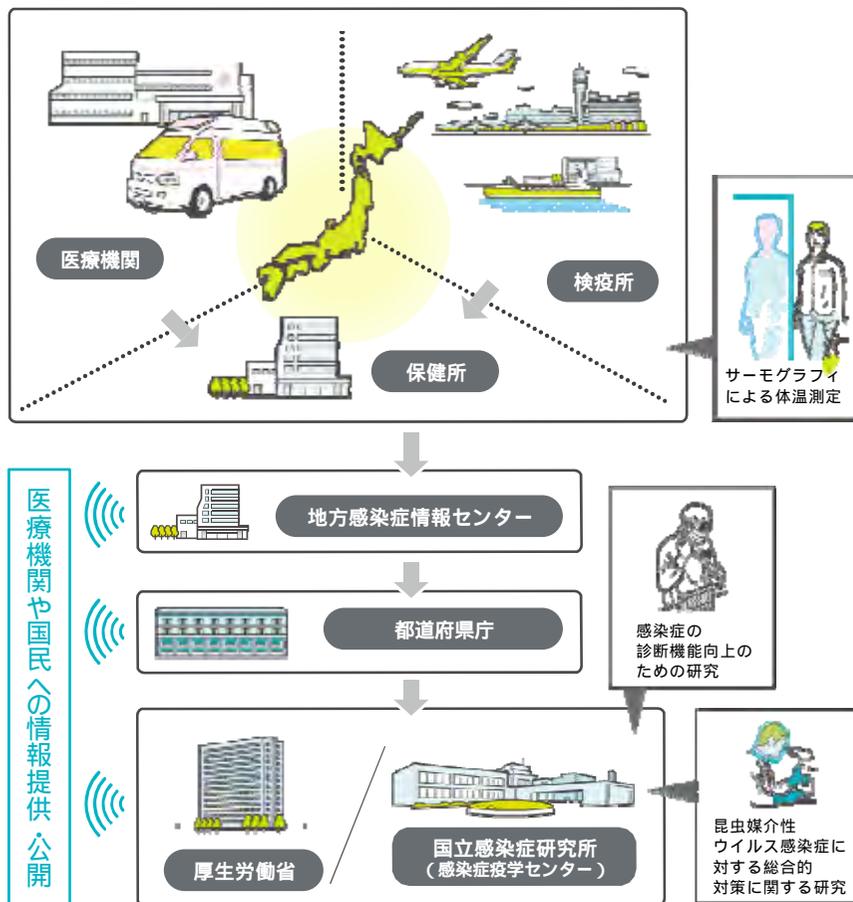
感染症の発生を素早く探知・公開し、健康的な暮らしを守る



ありたい姿と 成果イメージ

自然発生的な感染症の脅威に対し、感染症サーベイランスを強化することで感染症から国民及び世界の人々を守る

感染症の発生状況を様々な場所で収集・分析するとともに、国民への正確でスピーディーな情報提供・公開を実現する体制を構築し、感染症の蔓延から人々を守ります



感染症サーベイランス

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」に基づき、感染症法に規定された疾患の患者が、全国でどのくらい発生したのかを調査集計しています。感染症法においては、感染力、感染した場合の危険性等から感染症を分類し、全国規模の感染症の情報収集・還元システム（NESID; National Epidemiological Surveillance of Infectious Disease）を構築しています。

感染疑い患者の早期発見@医療機関、検疫所

空港や港等に設置された検疫所で、サーモグラフィによる高体温者の監視を実施

医療機関や検疫所等における感染症発生状況を保健所に情報提供

管内情報の収集・解析・発信@都道府県等

収集された情報を分析し、医療機関に情報を還元するとともに、感染症情報や注意喚起を配信しています

国内情報の収集・解析・発信、感染症対策強化に関する研究@厚生労働省、国立感染症研究所

国内の感染症発生状況を収集・分析し、国民へ向けて発信します
感染症対策強化に関する研究を実施しています

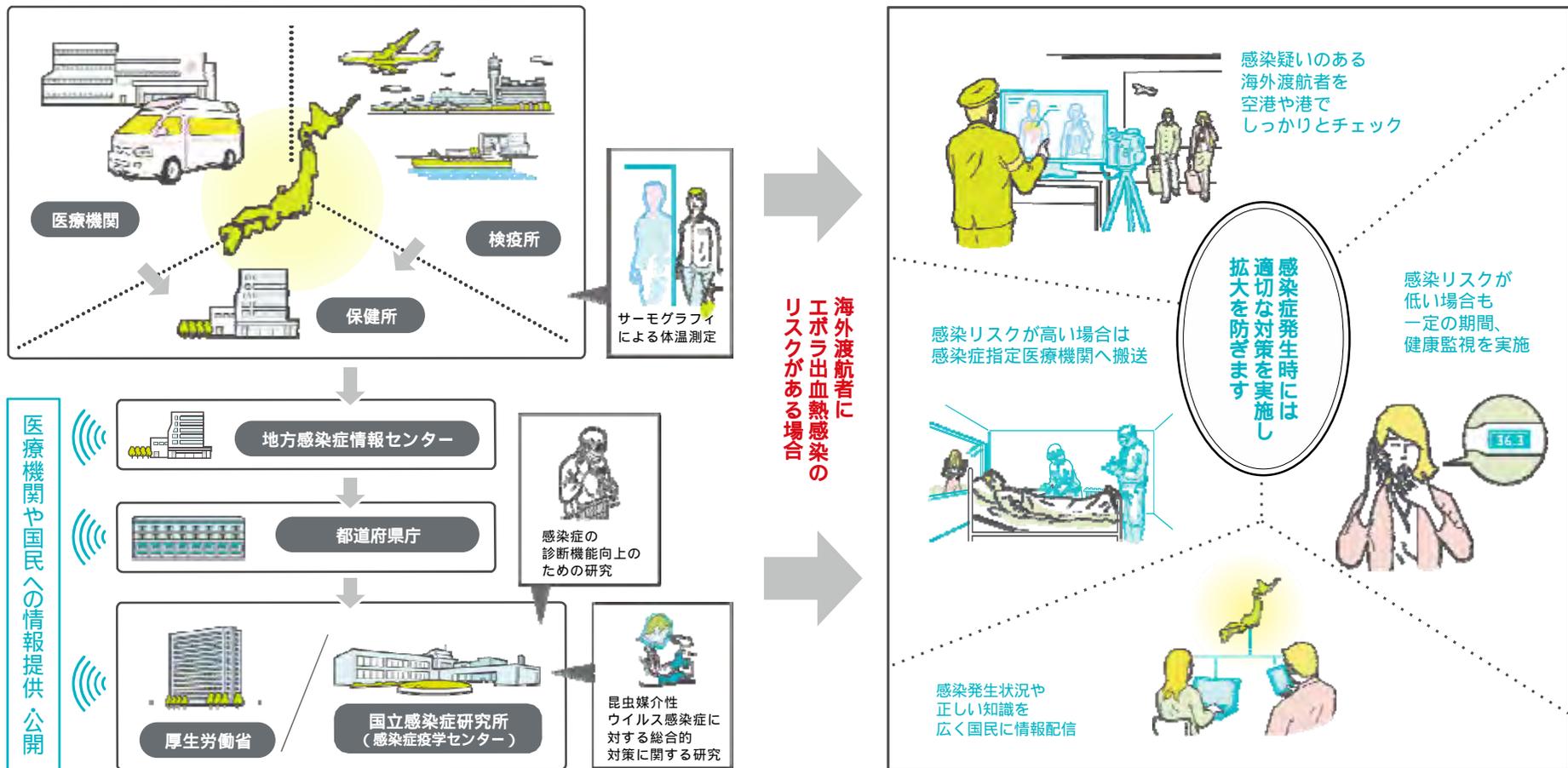


2020年に向けた取組

世界中のさまざまな感染症が短期間であらゆる場所に広がりうる状況を踏まえ、東京オリンピック・パラリンピックという大規模イベント開催時の感染症の異常発生の早期探知と迅速な対応を行い、感染症の脅威から人々の安全を確保した社会を実現する

技術の概要

「感染症サーベイランス」で感染症の流行を迅速に探知し、情報を収集・分析します





実現に向けた 取組と連携先

取組	連携機関	取組内容
研究開発		
感染症サーベイランスの強化 感染症の脅威から人々の安全を確保した社会を実現するため、研究機関、企業と連携し、感染症サーベイランスのための研究開発を継続的に実施する	国立感染症研究所等	<ul style="list-style-type: none">・昆虫媒介性ウイルス感染症に対する総合的対策に関する研究・感染症の診断機能向上のための研究等の研究開発を実施
	感染症研究 国際展開戦略プログラム (J-GRID)	アジア・アフリカに整備した海外研究拠点を活用し、各地で蔓延する感染症の病原体に対する疫学研究、診断治療薬等の基礎的研究を推進する。また国立感染症研究所をはじめとした、全国の大学・研究機関との共同研究体制を強化する